

平成 24 年度 湖南省立図書館第 1 回図書館協議会 会議記録

- 開催日時 平成 24 年(2012 年)6 月 9 日(日) 午後 2 時~4 時
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 9 人 欠席者 1 人  
図書館事務局 4 人
- 傍聴人 なし
- 議事
  - 1.平成 23 年度 市立図書館事業実績報告について
  - 2.平成 24 年度 市立図書館事業方針等について
  - 3.平成 24 年度 実施予定事業について
  - 4.平成 23 年度第 4 回の繰越議題（図書館協議会提案事項）
  - 5.その他
    - ・読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣賞表彰について
    - ・図書館協議会平成 23 年度第 4 回議事録（HP 公開用）確認について
    - ・HP 画面のリニューアルについて
    - ・図書館関連新聞記事について
    - ・その他

（\*配布資料は HP では省略。資料は甲西図書館、石部図書館の郷土資料コーナーにおいてある「図書館協議会」のファイルに添付しています。）

事務局：[開会のあいさつおよび傍聴についての確認]

事務局：[今回の協議会の配布資料確認]

[館長あいさつ]

事務局：[新委員の紹介]

[事務局職員あいさつ]

会長:[あいさつ]

■議事

事務局	[議事 1 平成 23 年度 市立図書館事業報告（分析編）（資料 2-2）について説明する。]
会長	議事 1 について質問や意見などがあれば、お願いします。
委員	資料費が 12 年度と比較して 52.8%（甲西図書館）、57%（石部図書館）で問題はないのか。
事務局	資料費が減ると、購入冊数が減り、複本購入や種類が減ることにもなる。ただ、資料費の減少は平成 21 年度でとまっている。
委員	教育長不在の状況を教えてほしい。教育長が不在で湖南省がうまくまわっていくのか心配だ。
館長	現在も教育長は選任されていない。教育部長が職務代理者として教育長の職務を代行している。昨年 11 月に前教育長の任期がきれてから、教育委員会としては早期に議会提案されるよう市長に申し入れをしている。法律上は職務代理者でも問題はないが、長期の不在を前提としていない。教育長が不在ということで業務が停滞していることはない。

委員	映画がビデオしかない。ビデオを再生する機器がない家が多いので、資料活用のためにDVDにダビングして貸出したらどうか。ビデオの貸出は減っているのではないか。
事務局	貸出は減っている。図書館で映像資料を貸し出す場合は著作権の問題がある。DVDを新規購入する場合は著作権許諾資料に限られるため1枚1万5千円～2万円するが、現在の予算では図書の購入を優先したい。ダビングすることは著作権法上できない。
委員	図書館で購入しているビデオの著作権は購入者に譲渡されていないので、ダビングするのは違法行為になる。やってはいけない。
委員	甲西図書館では資料費の減少を追いかけるように利用が減少していると分析しているが、読みたいと思うような比較的新しい本が棚に並ばないということか。
事務局	総額が減ると購入冊数も減るので、そうなる。
委員	棚になれば利用者が積極的にリクエストすればいいが、予約リクエストは図書費の減少とともに増えているのか。
事務局	増えている。複本が少なくなることで予約が増えるものもある。インターネット予約の導入も要因かと考える。
館長	県下の図書館は、どこも資料費は減少している。県内他館と比較すると湖南市は資料費があるほうである。他館の貸出冊数が一様に減少しているわけではなく、資料費の減少は利用の減少の大きな要因であるが、そればかりではないと考えている。市役所全体の経費が厳しくなっているため図書費が減っているが、選書の面で質のいいものを揃えリクエストに応えられるようにしていきたい。
委員	旧甲西町の場合、統計には数字のマジックもある。外国人登録を除いた人口の減少より利用が減っているのか。
事務局	人口一人当たりの貸出冊数がピーク時は12冊だが、現在は8.9冊である。人口の減少以上に減っている。
委員	他館からとりよせて貸出した本もリクエスト件数に入っているのか。数は増えているのか。
事務局	リクエスト件数に入っている。数については資料が手元にないので後日お知らせする。
委員	甲西図書館の本を石部図書館で借りる人も多いのではないか。石部図書館がなくなったら困る人もでてくる。甲西図書館所蔵の本を石部図書館で借りたら、どちらの貸出冊数にカウントされるのか。
事務局	貸出館でのカウントとなるので、その場合は石部図書館の貸出となる。
会長	あとで時間があれば意見交換をしたい。議事2について、事務局の説明をお願いします。
事務局	[議事2 平成24年度 市立図書館事業方針について(資料1) 説明する。]
会長	議事3についても続いて説明をお願いします。
事務局	[議事3 平成24年度 実施予定事業について(資料9) について説明する。]
会長	議事2および3について質問や意見があればどうぞ。
委員	夜間開館の運用について、以前試行したが利用が少なかったとのことだったが。
事務局	利用は少なかったが、期間が短かったことやPR不足が要因だったことも考えられる。人員体制を考慮する必要もある。
委員	始めると後戻りできないので慎重に考えるべきではないか。
委員	シーズンを決めて実施するのか、年間通じて実施するのかは決めておくほうがいいのではないか。
会長	南草津図書館が県内初の都市型図書館として9時まで開館して好評という新聞記事を見た。南草津

	図書館は通勤通学の乗降客の多い駅近くのビルという立地だから利用が多いのではないか。都市型であったとしても通勤通学に使われない駅の近くなら夜に開館してもそれほど利用がないことも考えられる。試行したあとの分析も大切ではないか。
館長	以前に夜8時までの夜間開館試行をしたが、利用者が増えるよりは、同じ人が長く滞在したと聞いている。以前、市の体育館でもシーズンで異なる夜間利用時間を統一する試行をしたことがあったが、同じ傾向があった。試行する際も職員体制を2交代勤務にするのか、開館時間を遅らせるのかなど問題もあるので試行可能かも含めて検討したい。
委員	図書館は独立性の高い社会教育機関であり、図書館長は知のリーダー的な役割があると考えます。館長としてのコンセプトは何か。
館長	自分は司書ではなく、市役所職員として図書館長を拝命している。図書館の教育機関としての役割は認識している。これからの課題として効率的な図書館運営を図るとしているが、行革の目的は経費削減だけでなく納税者の満足度を向上させることにある。無駄な経費は落とすが必要なところにはお金を使うということである。図書館をより魅力的なところをしたい。前館長は地域づくりの観点から地域情報収集発信を図書館の新たな役割としてあげており、市長も前教育長も図書館の新たなサービスとして重要であると認識している。24年度の湖南省教育方針にも「図書館を『地域を支える情報拠点』と位置づけ、地域や住民に役立つ運営をめざします」とある。それに従って、図書館を運営していく。
委員	図書館の役割は本の貸出もあるが、空間の提供も図書館の利用ではないか。貸出冊数の増減だけで図書館を判断してはいけないのではないか。
委員	資料収集を通じて市民を育てるなど目に見えないところもある。
委員	図書館の重要性や空間を提供していることをもっとアピールしてはどうか。
館長	貸出冊数は図書館の役割のなかで大きな基準であることは間違いない。ただ、インターネットで本が読める時代に本を読むための図書館というだけでは役割を果たせないのではないか。時代の流れのなかで図書館も変わっていくことが必要である。図書館は市民の情報交流の場であり、地域資料や行政資料を収集し、まちづくり活動の紹介もする。本を貸すと同時に情報発信センターでありたい。将来的には市民の交流が図れるようにコミュニティカフェ的な要素も検討してもいい。必ずしも貸出冊数に一喜一憂せずに運営していく必要があると考えている。
会長	議事4は議事5のあと時間の許す限り意見交換することとし、議事5の説明を事務局からどうぞ。
事務局	[議事5 その他について説明する。]
委員	文部科学大臣表彰について、図書館の活動をどのように報告したのか。
事務局	旧町時代からの両図書館の子ども読書活動推進のための活動を網羅的に挙げて申請したが、特に学校との連携については強調した。
委員	学校として図書館をどう活用しているかを紹介したい。昔は「本を借りなさい、読みなさい」という時代もあったが、現在は指導要領の改訂により言語力の育成を支えるものとして図書や学校図書館を活用することが求められている。調べ学習には図書館やインターネットを活用している。授業の中でも図書を活用しており、学校図書館のネットワークを利用し市立図書館からも本を借り受けることで、学習をさらに深める活動をしている。学校図書を活用した授業の実践を頑張っている学校として下田小学校も今年度、読書活動優秀実践校として表彰された。図書館と学校図書館と

	日々の学習を結ぶ流れが学校教育に求められている。市立図書館に学校としても期待している。
委員	湖南省の司書の働きがないと実現できない。委員の皆さんにも知っておいてほしい。
委員	前回もらった「図書館はまちづくりを支える情報拠点」という糸賀氏の資料を興味深く読んだ。図書館の新たなサービスとして課題解決支援の充実が挙げられている。個人の課題解決のための情報と図書館に求めることはまちづくりにつながり、課題解決に向けて行動できる自立した人間を増やすことも図書館の役割に含まれる。司書も外へ向かって出て行くことが必要で、湖南省で行っている乳幼児健診時での読み聞かせや言葉の大切さを伝えることも、その一環だと考える。司書は地域の魅力を発見し市民とコミュニケーションする能力が求められ、資料を集積し付加価値を与えることが大切だと述べられている。そこに書かれていた認定司書について教えてほしい。
事務局	認定司書になるには、いくつかの要件を満たす必要がある。研修を受ける、論文を書いて発表するなどの要件があり、湖南省の図書館ではまだ認定司書はいない。
会長	議事はひととおり終了した。提案事項も含めて意見交換をしたい。発言をお願いします。
委員	本は読むが、図書館は利用せず自分で購入している。図書館の資料はどのように選択しているのか。
事務局	各分野で入門的なものからある程度専門的なものまで揃えられるよう選定している。
委員	各分野の専門家の意見を吸収するシステムがあると基本書が揃うのではないかな。
事務局	リクエスト制度として、利用者の意見を聞く窓口はある。カウンターでも市民からの情報提供は受けている。本や雑誌などからも情報を得て品揃えに活かしている。
委員	司書にも限界があり、わからないこともあるだろう。専門家を集めたボランティア組織のようなものがあると、より本が充実するのではないかな。
館長	司書は資格をとる際に選書の方法については学んでいる。司書資格をとったあとも選書を行うにあたって勤務時間内はもちろんプライベートな時間も使って本の情報を収集していると思っている。毎朝の職員スピーチを聞いていると、いろいろなことに詳しいと感じている。
委員	司書が頑張っていることは認めるが、その道のプロを利用しない手はない。それぞれの分野で核になる本をそろえるために専門機関に相談して推薦してもらえばいいのではないかな。例えば園芸相談を受けたときに、それほど専門的なものでなくてもこの1冊があればという本はある。それを司書だけが把握するのは無理ではないかな。
事務局	市民から教えていただくこともよくあり、ありがたいことだと感じている。
委員	市民だと偏りがでてくるのではないかな。公の機関にアドバイスしてもらったほうがいい。
委員	ボランティアとして登録してもらって相談すればいいのではないかな。
委員	専門機関に相談したほうが早い。
会長	選書をする際に一般の人の意見を聞くと同時に専門家の情報ももらえる工夫を、という提案ですね。
委員	出版された本の目録に目を通して選定しているのですね。
委員	自分も目録を取り寄せたことがあるが、役に立たなかった。専門家の意見を聞く道を閉ざしてはいけない。
委員	今までもやっていたことはあるのではないかな。
事務局	特に開館時には、いろいろな情報をもらって本を選んだ。

会長	他にはないか。
委員	移動図書館の利用が増えている。市でも高齢化が進んで図書館に来館できない人も増えていくのではないか。図書館の数は多いほうが利用しやすいが図書館を増やすことは難しいので、移動図書館のステーションを増やすなどしたらどうか。車の運転ができなくなり公共交通機関も殆んどないとなると家の近くに来てもらえるのはありがたい。移動図書館巡回のPRもしたらもっと利用が増えるのではないか。
会長	移動図書館車は耐用年数が過ぎているのではないか。
館長	11年目だが走行距離は2万数千kmである。10年を超えたから変えるというのは今の状況から難しい。特殊な車なので高価でもある。実際に乗務もしたが、まだ使える状況である。更新時には、積載冊数は減るが小型車を複数台にすることも含めて検討したらいいと思っている。移動図書館は家の近くや学校に出向いていて、児童や園児、数は少ないが常連の高齢者、子ども連れのお母さんなどの利用がある。移動図書館は続けることが必要だと考えている。移動図書館に加えて、例えば、まちづくりセンターと連携してインターネットで本を予約してまちづくりセンターで受け取るというようなこともシステムを考えたいうえであっていいかもしれない。全体のパッケージを考えるときに、人・物・金が限定されているなかで新しいことをするためには何かをやめることも必要である。経費とサービスの質を上げる部分を見合いながら考えていくことになる。これからの図書館は本を借りていただく以上の役割を求められているのでそれに応えていく必要はある。
委員	移動図書館車がディーゼル車なら30万kmでも走れるのでは。
館長	ディーゼル車である。15年くらいはもつと思っている。
委員	移動図書館のために市民に寄付を募る方向も考えてはどうか。
館長	サービスを受けていただく人の負担の方法として今は税金だけだが、寄付をいただくことはできる。
委員	企業に移動図書館車の寄付をお願いする方法もある。ラジオで、コンビニが高齢者のいる過疎地に移動販売車を走らせるというニュースを聞いた。86歳になる私の父親は、図書館が好きで三雲から自転車で図書館に来ていたが、今は草津線に乗って甲西駅から歩いてきている。本当に来たい人は来館されると思うが、蔵書数は限られていても車に乗せて来てもらえるのもいい。
委員	移動図書館が来ると、人が集まってきてコミュニケーションもとれる。
委員	80歳をこえた私の母親も本が大好きだが自転車にも乗れないので移動図書館車をもっと整備されたら嬉しい。大活字本が移動図書館に充実しているといい。インターネットで申し込めるといいが高齢者は苦手かもしれない。簡単に身近に本が楽しめる状態ができればいいなと思う。図書館の利用が減少しているのはさびしいが、自分も、子どもが小さいときは1週間に1回図書館に来ていたが、今は3週間に1回と以前ほど利用しなくなった。成人した子どもは、忙しいのでインターネットで本を買っているようだ。私は本の匂いが好きで図書館に来たいという思いが強かった。
会長	社会的弱者への本の貸出を甲賀市で取り組んでいると聞いた。湖南市でも取り組んでもらえないか。
委員	図書館では以前いい映画を上映していたのに、見に来る人が減って上映会もなくなった。映像文化も大切である。5人以上集まれば映画会をしてもらえる申し込み制映画会の企画の利用は無料か。
事務局	無料です。

委員	5人でも集めるのが大変かもしれない。掲示板などを使って募集することができるといいのでは。
事務局	申し込み制映画会だけでなく、今年度は映画会をする予定もある。
会長	今年は、館長から図書館協議会への諮問はあるのか。
館長	現在のところ予定はないが、図書館協議会の場でご意見を伺いたい。
委員	図書館協議会の開催について、年4回のうち視察研修なども考えているのか。1回は石部図書館を会場に開催することはできるか。
事務局	検討する。石部図書館内では難しいが、複合施設なのでまちづくりセンターの部屋を借りることは可能かと考える。
委員	いつも土曜日の午後2時から4時に開催なのか。
事務局	委員さんのご都合にあわせている。土曜日・日曜日の午前に開催することが多い。
会長	時間になりましたので閉会します。長時間にわたって熱心にご討議いただき、ありがとうございました。